つんのーで！

佐世保市立中里中学校
学校だより　第１８号
文責　校長　川　口　貴　晴
令和７年７月１８日（金）発行

【学校教育目標】　「自ら学び、考え、行動し、自ら『生きる力』を培う生徒の育成」
【めざす学校の姿】「生徒が通いたくなる学校」「保護者が子どもを通わせたくなる学校」
「地域が自慢したくなる学校」「教職員が勤めたくなる学校」
【めざす生徒の姿】「愛（合い）のある生徒」
～支え合い、学び合い、磨き合い、高め合い、励まし合い～
【めざす教師の姿】「時代・社会の要請を理解し、自らの教師力・人間力を高める教師」
【めざす授業の姿】「生徒の主体性・確かな学力・生きて働く力を育む授業」

修学旅行に行ってきました！

7月2日(水)～4日(金)の日程で、3年生が関西方面への修学旅行に行ってまいりました。2日目の京都タクシー研修の終わりころに少しだけ雨に見舞われましたが、その他は晴れ過ぎ、暑すぎの天候で、順調に見学地をまわることができました。

1日目、早朝の学校集合でしたが、忘れ物などなく、無事に出発できました。今回の修学旅行の「壁」の1つであった、新神戸駅での新幹線からの「1分間降車」は何度も練習した成果を発揮して見事にクリアし、全員乗り越しなどなく降車できたことに大いに胸をなでおろしました。そして、生徒が夢にまで見ていた(？)USJに一路向かいました。USJでは、どの生徒もそれぞれにやることを事前に計画していたのか、入場と同時にあっという間に場内に消えていきました。会場内で会うどの生徒も、学校では見られないほどの笑顔・笑顔でした。夕食は、USJ に隣接している飲食店街で班ごとに相談して、おいしいものを食べました。そして、ホテル京阪に宿泊しました。

2日目は、ホテルでの朝食をしっかり食べ、京都に向かいました。最初に伏見稲荷大社でクラスごとの集合写真、その後自由散策を行いました。今まで、写真やテレビで見ていた千本鳥居のすごさ、美しさにどの生徒も感動したと思います。多くの観光客がいて、「京都にきたー」っていう感じでした。伏見稲荷大社散策後に、班ごとにタクシー研修に出発しました。当日の京都市内の気温は37度を示すなど、酷暑でしたので、快適に市内を回れるタクシー研修は本当に良かったです。また、担当したドライバーの方々もよい人ばかりで、ある班などはタクシー研修終了後にドライバーの方にお茶をプレゼントする班もあったほどでした。(保護者の皆様の理解があったからこそです。感謝です)タクシー研修の最終盤にものすごい雷雨がありましたが、タクシーのお陰で全員無事に京都駅に帰ってきました。その後、一路大阪南港に向かい、フェリーに乗り込みました。フェリーは4月に就航したばかりの最新鋭のフェリーで、船内もきれいで快適に過ごせました。夕食をとり、お風呂に入って就寝となりました。ただし、就寝時間にちゃんと眠ったかどうかは？？？でした。

3日目は、これまでの生徒の行動が予想以上によかったので、フェリーの展望デッキでクラス写真を撮ることにしました。強風が吹く中でしたが、なかなか体験できない船上(洋上)での写真撮影はよい記念になったと思います。生徒の中にはイルカを発見した生徒もいたようです。そして朝食をとり、無事に下船をしました。最終日の見学地は、いのちのたび博物館と大刀洗平和記念館でした。

いのちのたび博物館では、古代の恐竜や植物の化石から現代の生物の標本や生態が分かる多様な展示がされていて、生物や歴史などに興味がある生徒には何時間いても飽きないほどの博物館でした。その後に、昼食として博多ラーメンをいただきました。みんな「うまかっちゃんの味がする」と言っていました。

最後は、大刀洗平和記念館を見学し、特攻隊員にまつわる詩の朗読や平和学習を行いました。その中で、生徒がこの日のために作成した「Peace Message」を贈らせていただき、皆で世界平和を祈りました。その後に館内を見学して、ゼロ戦や戦没者の遺書、戦争の様子などの展示を見学し、記念館を後にしました。そして、貸切バスの乗り込み、首を長くして待っている家族の待つ佐世保

に向かって岐路につきました。途中、小城のパーキングエリアで解団式を行い、各方面ごとのバスに分乗して、再び佐世保に向かい、17時頃に生徒は無事に帰宅しました。

以上が、3日間の修学旅行の概略です。本当はそれぞれの生徒にこの数倍いや数十倍・数百倍の出来事と思い出が詰まった修学旅行であったと思います。「行事は(で)生徒を育てる」という言葉が教育界にはあります。特に修学旅行は、学校を離れ見知らぬ土地でそれまでの学びや力を発揮しなければなりません。本校生徒は、その学びや力を存分に発揮して、無事に佐世保に帰ってきたと確信しています。当然、修学旅行の道中がいろいろなことがありました。すべてがほめられることばかりではなかったことも事実です。しかし、そんな中でも確実に成長し、ひとまわりたくましくなったと確信しています。これから、3年生は多くの生徒が部活動を引退して、受検(受験)モードに入っていきます。受検(受験)は団体戦だと言われています。その基礎となる互いに信頼し合う思いや支え合う姿勢を育むことのできた修学旅行でした。今後の生活に大いに役立て、中里中3年生全員で、そらぞれが心に秘めている「夢・憧れ」を実現してほしいと思います。

修学旅行に際しまして、費用から旅行準備まで心配りをしてくださった保護者の皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。
※解団式で出していた2つの宿題は①「ただいま」②「ありがとう」と保護者に真っ先に言うでしたが、達成できたでしょうか！

堂々と「少年の主張」！

7月12日(日)に「佐世保市少年の主張大会」が市内30校の代表者を集めて行われました。本校からは、3年2組の小川紗奈さんが代表として出場し、大勢の聴衆の前で堂々と発表しました。その内容があまりにも素晴らしいのでご紹介します。

「あと一歩先へ」

3年2組　小川　紗奈

「焦らなくていいよ。」そう言ってくれる人は沢山います。私たち中学3年生は「なりたい自分」というものと、向き合わなければなりません。行きたい高校、就きたい職業、何をするにしても自分は何者になりたいのかという問いがつきまとってきます。

みなさんには『なりたい自分』はありますか。私はこの漠然とした問いに悩まされてきました。

この弁論を書くにあたって、改めて私は自分の心に尋ねてみました。私の心はこう答えました。「みんなが楽しく、今という瞬間を幸せに生きてほしい。」誰かの人生が少しでも楽しくなるように、寄り添ってあげる存在になる。それが私の『なりたい自分』です。でも、そうなりたいと思っていても、あと一歩届かないと感じることがたくさんあります。踏み出すことに躊躇してしまうのはなぜか、その原因は、私の心の弱さにあると感じます。こうしたほうがいい、と頭の中ではわかっているのに行動に移せず、いつも後悔だけが残ります。『なりたい自分』なんて口では言っているけど「でも」とか「やっぱり」とか、真っ先に浮かんでくるのは言い訳だけでした。例えば、登下校中の地域の方への挨拶のようなささいなことであっても、躊躇してしまうことがあります。心の中では「今だ。挨拶するんだ。」という自分の声が聞こえてくるのに、結局、言葉が出ないまますれ違ってしまいます。

あと一歩が踏み出せない、そんな私に必要なものは、こうなりたいという理想を実現させるための、ほんの少しの「勇気」です。でも、勇気を手に入れるためにはどうしたらいいでしょうか。「勇気」という言葉から思い浮かんだのは、あのヒーローの顔でした。「愛と勇気だけが友達さ」のフレーズで知られるアンパンマンです。勇気とは形のない概念です。アンパンマンはそんな勇気のことを友達だと言っています。勇気が友達とは、改めて考えてみると不思議です。なぜ、勇気がアンパンマンの友達となり得るのか、それは辛いときに自分を奮い立たせてくれる、友達のような存在だからではないでしょうか。みんなが頼りにしているアンパンマンでも、私のように一歩が踏み出せないときがきっとあるのだと思います。そんなときでも、立ち上がって前を向くことができるのは、きっと勇気という存在が友達のように寄り添ってくれている。こう考えると、勇気というものは案外、身近にあるものなのかもしれません。怖気づいているときでも、勇気は「がんばれ」と応援してくれている。その声に後押しされることで、人は行動することができる。もしかしたら、地域の方に挨拶をする時に聞こえた、あの声は私の中の勇気だったのかもしれません。もちろん、最終的に足を踏み出すということについては自分自身で努力をしなければなりません。でも、自分の中に勇気があると考えれば、少しだけ強くなれる。心の中の勇気が「がんばれ」と応援してくれている。その声に耳を傾けることで、あと一歩先へ踏み出せるかもしれない。

アンパンマンがお腹を空かせている人に自分の顔をあげるように、私も勇気のお裾分けができるようになれば、本当に『なりたい自分』になることができたと、胸を張って言える気がします。まだまだ成長途中の私には弱い部分がたくさんあります。すぐに強くなれるとは、正直思いません。でも、焦らずに「私ならできる、やってやるんだ。」と勇気の声に耳を傾けること、そして、小さくてもいいから一歩先へ進めたと自信を持つこと。『なりたい自分』を目指して、まずは自分と向き合っていく時間を大切にします。勇気が友達になってくれるその日まで。

明日の水泳競技を皮切りに、県中総体が実施されます。本校からは女子バレーボール・陸上・サッカー・女子バドミントン・女子ソフトテニス・硬式テニス・柔道が出場します。
猛暑の中ですが、条件は相手も同じです。最後の1分、1秒まで全力を尽くしてほしいと思います！fight～！